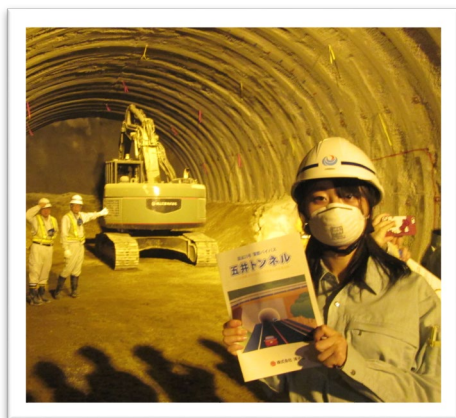




国土交通省中部地方整備局
CHUBU REGIONAL DEVELOPMENT
BUREAU



国家公務員を目指す **女性** の皆さんへ

一緒に“中部の未来をつくる仕事”をしませんか

皆さんは国家公務員に対して、終日机に向かって働いているというイメージを持っていませんか？

もちろん、デスクワークで重要な仕事はたくさんありますが、国の重要な道路や河川などのインフラ整備に関わる中部地方整備局は、フィールドワークの多いことが特徴です。

近年、女性の活躍がめざましいなか、当局では女性職員が年々増加しているとともに、性別に関係なく活躍できる場が広がっています。

県域を越えたスケールの大きいインフラ事業や防災事業など“中部の未来”へ、そして“日本の未来”へつながる仕事を、私たちと行いませんか。中部地方整備局に入局して、一緒に未来をつくりましょう!!



女性が少ないイメージがありませんか？

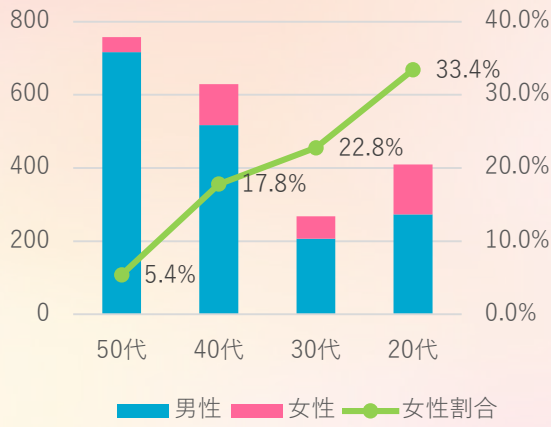
中部地方整備局では、近年、新規採用職員のうち、約3割の女性職員が入省しています。また、年齢別でみても20代の女性の割合は他の年代より多く、女性職員の割合は増加傾向にあります。

同年代の女性職員が多いので、仕事の相談だけでなく、プライベートの話、また女性ならではの相談もしやすく、働きやすい環境が整っています！

■ 女性職員の採用数について
【採用年度別】

		H31 年度	R2 年度	R3 年度
男性		41名	47名	47名
女性		17名	21名	21名
女性割合 (全体)		29.3%	30.8%	36.4%
内 訳	事務	41.2%	28.0%	40.9%
	技術	22.0%	32.6%	34.1%

■ 女性職員の割合について【年代別】





Murakami Kanako

村上 佳奈子 事務官

多治見砂防国道事務所
用地第二課

■用地業務の魅力・やりがい

用地業務は公共事業に必要な土地を取得することが主な仕事です。実際に現場に出て、地権者の方に事業への協力をお願いします。最初は事業に反対する方もいらっしゃいますが、何度も話をしていくうちに自分たちの想いを理解してもらうことができ、大きなやりがいを感じられます。

用地交渉は色々な知識や経験のほか、交渉をスムーズに進めるためのテクニックもあり、イメージよりも難しく、奥が深いものだと言った経験してみてもいいと思います。

用地交渉以外にも、補償金を算定するまでの様々な手続きや、相続や登記、税務関係などたくさん知識が必要になります。事務所の中で行う業務もありますが交渉や現地の調査で外に出る機会も多いため、新しい発見や学びが多く充実した毎日を過ごしています。

まだまだ分からないことばかりですが、入局したころと比べれば徐々に理解できることやできることが増えて嬉しいです。

■仕事とプライベートの両立

休暇を取得しやすい雰囲気職場で、仕事だけではなくプライベートも充実した生活を送っています。平日の仕事終わりに予定を入れることもできますし、休暇の制度も整っているためしっかりリフレッシュしてまた仕事を頑張ろう！と気持ちで仕事に取り組むことができます。また、今の事務所に配属されて多治見に初めて住むことになりましたが、休日には近所を散策したり、地元で有名なところに行ったりする楽しみもあります。

管内には様々な勤務地があるため、その地域の観光地を巡ったりおいしいものを食べたりすることができるのも魅力のひとつだと思います。



課内で上司と打ち合わせ



境界立会の様子

経歴

R3.4

多治見砂防国道事務所
用地第二課 採用





Oono Misa

大野 実紗 事務官

矢作ダム管理所

■ダム業務の魅力・やりがい

台風や大雨でダム下流域にたくさんの水が流れそうな時、ダムでその水を受け止め安全な量だけ流す、ダムは私たちの暮らしを守るとても大きな役割を果たしています。

私は現在、矢作ダム管理所の総務係として働いています。職員の給与に関する一見ダムとは関係なさそうな総務的な事務から、矢作ダムと周辺地域を幅広く皆様に知っていただくための広報事務まで、幅広い業務を通して多方面からダムに携われることが、事務官としてのダム業務の大きな魅力であると感じています。

■仕事とプライベートの両立について

職場の雰囲気はとても良いと感じています。日々の業務のことはもちろん、その他様々なことも相談できる環境なので、毎日楽しく、そして全力で仕事に打ち込めています。

休暇に関する制度も充実しており、また取りづらいつと感じたことはありません。年次有給休暇や夏期休暇を利用して友人と旅行に出かけたり、食事に行ったりしています。平日は仕事を頑張る、休日は思いっきりリフレッシュして毎日頑張っています。



所内で打ち合わせ



業者さんと現場確認

経歴

H31.4 道路部 路政課 採用

R3.4 矢作ダム管理所





Matsunaga Chika

松永 千佳 事務官

三重河川国道事務所
用地第二課
用地第一係長

■育児に奮闘中！

私は、現在の部署に配属中、妊娠・出産という人生の一大イベントを迎えました。第一子であったため、自分の体調から出産に係る手続き等にいたるまで、分からないことだらけでしたが、職場の方々（女性・男性を問わず）の温かい心遣い・アドバイスのおかげで、穏やかな気持ちで出産を迎えることができました。現在は仕事は少しお休みをいただいて、育児に奮闘の毎日です。男性が多い職場ですが、育休の取得なども気軽に相談でき、女性が働きにくい職場と感じたことはありません。とても温かく、活気がある職場でこれからも仕事を続けていきたいと思っています。

■業務の魅力・やりがい

用地業務は、事業の始まりの部分に携わる仕事なので責任重大ですし、プレッシャーも大きいですが、その分、用地取得できた時は達成感があります。取得した用地で工事が始まり、それが完成した時にはとても充実した気持ちになります。

とは言え、私も今の部署に配属が決定した当初は、不慣れな業務である上に新しい役職であったため、とても不安に思っていました。しかし実際に業務を進めるにあたっては、上司や同僚の温かいサポートもあり、皆で知恵を出し合い、助け合って業務を進められるので、毎日安心して前向きに業務に取り組むことができました。

また、用地業務では幅広い知識が必要です。例えば、補償する対象によっては、その分野のマニアクな知識が必要になることがあります。様々な分野について勉強することは、貴重な経験ですし、新しい知識に出会うと楽しく感じます。

用地業務に限らず、中部地方整備局の仕事は、地域に密着した内容が多く、現場の空気を感じられるところが私には面白いです。

現在育児休業中



子育てに奮闘中!!

経歴

H22.10	沼津河川国道事務所 用地第一課 採用
H24.4	河川部 水政課
H25.10	静岡国道事務所 富士国道維持出張所 事務係長
H28.4	木曽川上流河川事務所 揖斐川第二出張所 管理第一係長
H29.12	結婚
H30.4	三重河川国道事務所 用地第二課 用地第一係長
R1.6	出産後、育児休業開始





Nakagawa Kasumi

中川 佳澄 事務官

岐阜国道事務所
管理第一課
占用係長

■道路業務の魅力・やりがい

道路は私たちが生活する上でとても身近な存在です。安全に道路を利用するため、渋滞をできる限り少なくするため、また車だけではなく、歩行者の安全を第一に考えて少しでも良くするため、毎日たくさんの人たちが知恵を出し合っています。

現在、占用係長として、国道の敷地に電線や上下水管等を設置するための許可手続きや、国道への県道・市道の取付（交差点設置）協議に携わっています。自治体の方とお話する機会も多く、直接お礼の言葉を聞くことができたり、自分が許可した工事が進んでいく状況を見るととてもうれしくやりがいを感じます。

■仕事とプライベートの両立

入省して7年目、1人目を出産し、育児休業中に2人目を授かり、約5年間のお休みをいただきました。育児休業から復帰したての頃は保育園への送迎のため、育児時間の取得により2時間早く帰らせてもらっていました。そのため他の人たちから嫌な目で見られないかなど心配な部分もありましたが、職場の上司や周りの方たちが私を気かけ、「子どもが待ってるぞー」と声をかけてくださり、帰りやすい環境にありました。また時間が短いことで、今までより集中して効率よく仕事を行うことができるようになったと思います。2人とも小学生になった現在も通勤時間や勤務地に配慮いただき、子どもを送り出してから出勤させてもらっています。

仕事も育児もめまぐるしい毎日ですが、充実した毎日を送っています。



工事完成検査立ち会い



所内で業者と打合せ

経歴

H16.4	総務部 総務課 採用
H18.4	静岡河川事務所 調査課、占用調整課
H19.5	結婚
H20.4	沼津河川国道事務所 河川管理課
H22.4	総務部 厚生課
H23.2	出産後、育児休業開始
H24.9	育児休業終了
H25.3	出産後、育児休業開始
H27.4	育児休業終了
H27.4	企画部 企画課
H28.10	木曽川上流河川事務所 木曽川第一出張所 管理第一係長
H31.4	岐阜国道事務所 管理第一課 占用係長





Niimi Wakaba

新實 若葉 事務官

中部道路メンテナンスセンター総務課長

■女性のキャリアアップについて

管理職昇任のお話を頂いたとき、果たして自分に務まるだろうかと不安でいっぱいでした。子育ては一段落し、幸い今のところ介護もなく、環境は整っている。ではなぜ不安なんだろうと考えたら、それは女性だからというより、単に自分の知識や能力に自信がないからでした。そんなとき周りの方が、「最初是不慣れでも、だんだん役職にふさわしくなっていくよ」と背中を押してくださったので、きっと何とかなる。これは成長できるチャンスなんだ、と前向きに考えることができました。今は、チャレンジしてよかったと思っています。

■仕事とプライベートの両立

子どもたちが小さい頃は、定時に帰らなければと毎日時間に追われていましたが、幸い主人も同じ中部地方整備局の職員なので、お互いフォローしあいながら、家事も育児も協力して進めてきました。子どもたちが成長した今は、わたしの帰りが遅くなっても、誰かが夕飯の支度を始めてくれて、洗濯物も畳んでくれています。家族全員で協力できているので、とても助かっています。

両立する上で大切なのは、何もかもひとりでやろうと頑張りすぎないことです。周りの手を借りることも、時にはリフレッシュも必要です。自分も家族も健康であってこそ、仕事も頑張れると思います。



所内で部下と打合せ

経歴

S61.4	総務部 人事課 採用	
H4.4	総務部 会計課	
H5.9		結婚
H8.3		出産後、育児休業開始
H9.1		育児休業終了
H9.4	道路部 路政課	
H10.8		出産後、育児休業開始
H11.4		育児休業終了
H13.4	営繕部 建築課 基準係主任	
H15.4	道路部 道路工事課 施設係主任	
H17.4	愛知国道事務所 名古屋東部出張所 事務係長	
H20.4	名古屋国道事務所 名古屋国道維持第四出張所 事務係長	
H22.4	木曽川上流河川事務所 総務課 専門調査員	
H23.7	多治見砂防国道事務所 経理課 経理係長	
H25.4	名古屋国道事務所 総務課 職員係長	
H26.4	木曽川下流河川事務所 経理課 専門職	
H28.4	愛知国道事務所 総務課 専門官	
H30.4	多治見砂防国道事務所 経理課長	
H31.4	中部道路メンテナンスセンター 総務課長	





Izumiya Izumi

泉谷 いづみ 事務官

北勢国道事務所
副所長

■女性のキャリアアップについて

～経験してきた仕事の全てが今に繋がる～

私はこれまで、総務、用地、企画、防災、厚生、建政、と多種多様な業務を経験してきました。その時々では、難しいと思うこともあり勉強が必要なものもありましたが、今思うとその一つ一つの経験全てが、今の自分に繋がっていると実感できます。分野が違えばそれぞれ、法律や規則、運用の仕方も違うのですが、幅広く仕事を経験することで得た知識や仕事のやり方は、必ず次のステップで活かされ、キャリアアップに繋がっていくという好循環が、自分自身を成長させてくれたのではないかと思います。

また、何より仕事を通じ関わることでできた多くの職員との出会いは、仕事だけでなく人生にも幅を持たせてくれたと感じています。これまでの日々を振り返り、私にとってキャリアアップとは、前向きに、そして楽しみながら日々の業務積み重ねていく、そのことなのではないかと確信しています。

■仕事とプライベートの両立

～人生を二倍楽しむ方法～

仕事と家事や育児等をしながら仕事をしていく、謂わば二足のわらじは、時間との勝負です。

私も建政部時代、本省との業務上の調整等が多忙な中、子供の小学校受験を経験しました。

当時の課長と、お受験の休憩時間に携帯電話で業務のお話をさせていただいたことが、今となっては懐かしい思い出ですし、子供の受験にご理解をいただき、電話での業務説明を快諾くださった課長に今でも感謝しています。また、学校行事も多忙でしたが、学校に着いた途端、仕事のことは忘れ学校に専念し、仕事中にはいかに効率よく業務を行うかを常に考えていました。

結果、仕事をしながら、子育ても十二分に楽しむ、そんな日々を送ることができました。



所内で部下と打合せ

経歴

H4.4	総務部 契約課 採用
H6.12	結婚
H7.4	愛知国道工事事務所 用地課
H9.4	企画部 企画課
H10.4	名古屋国道工事事務所 豊田維持出張所 事務係長
H13.10	多治見工事事務所 総務課 総務係長
H16.4	総務部 総務課 文書係長
H18.4	総務部 厚生課 安全係長
H19.4	建政部 計画管理課 計画・景観係長
H22.4	営繕部 保全指導・監督室 管理係長
H23.7	名古屋国道事務所 建設専門官
H26.4	新丸山ダム工事事務所 総務課長
H28.4	総務部 厚生課長補佐
H31.4	建政部 建設専門官
R3.4	北勢国道事務所 副所長



Motonaga Junko

元永 淳子 技官

企画部
企画課

■志望動機

女性の少ないイメージの建設業界ですが、就職活動をしていた時に当局の女性職員の方から仕事の体験談を聞く機会があり、性別に関係なく土木のスペシャリストとして活躍している様子に憧れて志望しました。中部地方整備局の仕事は規模が大きな仕事、また、多くの人に影響力のある仕事ばかりです。自分の能力を最大限に生かしたい、成長し続けたいという思いを持って入省しました。実際に入省してから、フィールドの広い職場であるからこそ、新しい経験や知識を吸収する場、自分の能力を発揮できる場がたくさんあると感じています。

■仕事の魅力とやりがい

入省してから、道路事業、河川事業に携わる仕事を2年ずつ経験しました。現在は、リクルートと研修等の人材育成に関する仕事に従事しており、直接的には道路事業にも河川事業にも携わってはいません。しかし、今までの自分自身の経験から、学生さんに職場の魅力を伝えること、また、将来を決めるきっかけづくりが出来ることにやりがいを感じます。多くの人に“伝える”という経験が今までなかったので、自分自身の成長にもつながっていると感じています。

■仕事とプライベートの両立

休日は、同僚と旅行に行ったり、職場のいろんな方と一緒にスポーツイベント（マラソンなど）に参加したりなど、退屈する日がありません。社会人になってから、自転車など、新たな趣味に目覚めたり、娯楽の幅も広がりました。仕事のための休日ではなく、仕事とプライベートを切り離して楽しんでいるので、どちらかに偏ることなく毎日充実した日を過ごしています。



学生向け現場見学会を開催



人材育成の大切さをプレゼン中！

経歴

H27.4	岐阜国道事務所 工務課 採用
H29.4	静岡河川事務所 管理課
H30.4	静岡河川事務所 調査課
H31.4	企画部 企画課





Ito Misa

伊藤 美沙 技官

高山国道事務所
管理第二課

■志望動機

「大きな土木構造物を作りたい！」これが私の志望動機です。土木の仕事はさまざまですが、中部地方整備局では市や県の境を超えた大きな仕事に携わることができます。また、働くことに転勤が伴うのもこの職場の特徴ですが、中部地方各地の魅力が発見できるのではないかとワクワク感もこの職場を志望するきっかけとなりました。

■道路業務の魅力とやりがい

道路は人々の生活になくてはならないものであり、私たちの仕事は道路を利用するみなさんが安全に通行できるように道路を整備することです。今ある道路をより長期間、より安全に利用できるように維持管理をおこなったり、さらに便利になるように新しい道路を作ったりしています。道路を利用される方の声を聞きながら、生活と密接に関わる道路を整備できることが道路業務の魅力であり、設計したものが実際に完成した様子を見るとやりがいを感じます。

■職場の雰囲気

入社4年目となりましたが、まだまだ知識が不足しており、一人では悩むことに日々遭遇します。ですが、相談をするとヒント・アドバイスをくれる上司や、一緒に考えてくれる同僚がいる明るく優しい職場です。仕事が忙しいときには課内で業務分担し、みんなが自分の課を1つのチームとして考え協力して仕事をしています。また、定時退庁日や休日にも職場の職員とその土地ならではの祭りやイベントに参加したりして楽しんでいます。仕事からプライベートまでとても充実しています。



経歴

H28.4 豊橋河川事務所 工務課 採用

H30.4 高山国道事務所 計画課,管理第二課





Tashiro Kae

田代 佳枝 技官

沼津河川国道事務所
沼津河川出張所
管理第二係長

■志望動機

大学3年生の時のインターンシップに参加したとき、私も土木技術者として、職員の方々と一緒に働きたいと思ったからです。学生時代、土木系の公務員が何をやっているのか全く分かりませんでした。しかしインターンシップに参加させてもらったときに、その事務所にいる職員全員が一体となって一つの事業に向かって仕事しているところがとても眩しく感じました。また、女性の技術の方々も主体的に仕事をしており、同じ女性である自分もこの組織に入って頑張りたいと思いました。

■河川業務の魅力とやりがい

河川業務は、普段皆さんが生活している町や家を洪水などの災害から守る仕事ができるところが大きな魅力です。近年台風などの自然災害が深刻化している中で堤防護岸等をつくるだけでなく、災害に対する意識を変える防災教育を行うなど幅広く業務を行っています。災害から地域を守るための堤防をつくり、防災意識を変えるために防災教育を行うことで地域に貢献できることにやりがいを感じます。

■仕事とプライベートの両立

管内には様々な勤務地がありますが、その地域の観光地巡りが非常に楽しいです。私の場合、三重県の時には伊勢神宮など、静岡県の際には富士山に登ったり、地域のフルマラソンに参加をしました。また、長期休暇を取得して、女性職員の同僚たちと海外へ行くなど、平日は仕事に没頭しながらも、プライベートも楽しんでいました。昨年結婚をし、夫とは遠距離恋愛でしたが、夫と同居できる範囲の勤務先に勤めさせてもらっており、非常にありがたく感じています。



今後の設計について議論



担当者の育成・指導（OJT）

経歴

H27.4	北勢国道事務所 調査設計課 採用
H28.4	北勢国道事務所 計画課
H29.4	静岡河川事務所 調査課
H30.4	企画部 企画課
H31.3	結婚
H31.4	沼津河川国道事務所 沼津河川出張所 管理第二係長





Yamada Mariko

山田 真理子 技官

設楽ダム工事事務所
調査課
計画係長

■今までの職務経歴

私は入省以来、主に河川に関する業務を行っており、台風など災害に備えるための防災業務や設計どおりに工事が進められているかを確認・指導する工事監督の業務に携わってきました。

現在は工事により影響を受けると予測されている地域の生物について、完成後も生息できるように移植場所や生息環境の改善について検討する業務を行っています。多様な動植物が生育・生息できる環境として新たに里山湿地を整備し、動植物の調査を地域の方々と一緒に行うことで湿地環境が有する魅力を伝えています。

■仕事のやりがい

現在の業務では学習会などを行う機会が多くあり、参加者に楽しんでもらうにはどうすれば良いだろうかと毎回悩むため、日々他業種も含め見学会等での工夫点について意識するよう努めています。例えば参加者自身に移植を体験してもらうなど、参加者が楽しみ、かつ興味が湧く企画を立てるよう心がけており、「貴重な体験ができ楽しかった」「これから環境に関して何ができるか考えるきっかけになった」といった感想を頂いたときは「想いが通じた」と嬉しく達成感がありました。

■目指すべき女性技術者とは

近年、業務に求められる価値観やニーズが多様化し、様々な「違い」を尊重し、積極的に活かすことで、変化し続ける環境やニーズへの対応ができるのではと思っています。男性職員が多かった職場に女性職員としての異なる視点、また性別だけでなく様々な立場・環境からの意見を活用することで、より質の高い業務ができるのではと思い、私自身も多くの視点を得るため、仕事だけではなくプライベートも含めできるだけ多くのことにチャレンジするよう努めています。



湿地の整備状況確認



業者との打合せ

経歴

H14.4	多治見工事事務所 調査設計課 採用
H16.4	越美山系砂防事務所 工務課
H18.4	木曽川下流河川事務所 調査課
H19.11	庄内川河川事務所 工務課、調査・品質確保課
H23.4	企画部 企画課
H25.4	浜松河川国道事務所 中ノ町出張所 技術係長
H27.4	庄内川河川事務所 庄内川第一出張所 管理第二係長
H29.4	静岡河川事務所 調査課 調査係長
H31.4.	設楽ダム工事事務所 調査課 計画係長





Yamada Makiko

山田 満貴子 技官

愛知国道事務所
工務課
維持修繕係長

■道路業務の魅力とやりがい

私は名二環の未開通区間である高速道路の工事発注を担当しています。まもなく開通のため仕事は忙しいですが、昨年は橋脚工事の完成、今年は上部工事の完成と、着々と開通に向けてスケールの大きい高速道路ができあがっていくのを目の当たりにすると、今しかできない貴重な仕事に携わることができて、この職場を選んでよかったと感じています。

また、私が過去に携わった他事務所の歩道整備の仕事では、地域の方々と話し合いの場を設け、どのような歩道が使い勝手が良いのか、歩道に関する法律の範囲内でできることはどんなことがあるかを一緒に考えて歩道の整備方針を決定しました。その結果、この地域にとってより良いものが完成したとの喜びの声をいただき、本当にうれしかったことは今でも忘れません。

■仕事と家庭の両立

小学生の子どもが二人いるため、学童への迎え、習い事への送迎があり定時に帰らなければならないことが多いですが、仕事の分担を配慮していただくなど、職場の上司や同僚、後輩の理解と協力のおかげで仕事を続けることができています。

また、授業参観などの学校行事のため平日に休暇を取りたい時が年に何日もありますが、仕事を調整して計画的に有給休暇を取得しています。現在、私の授業参観の出席率は100%です！

なお、現在はフルタイムで働いていますが、数年前までは育児時間の制度を利用し保育園への送迎の時間を確保していました。育児中の制度は育児時間やフレックスタイムなど様々あり、自分のライフスタイルに合うものを選択して活用することができます。また、制度があるだけでなく、それを実際に使える職場環境であることが中部地方整備局で仕事が続けていける理由だと思います。



現場での打ち合わせ



事務所にて打合せ

経歴

H10.4	富士砂防工事事務所 調査課 採用
H12.4	静岡国道工事事務所 交通対策課
H15.4	企画部 企画課
H17.4	道路部 道路計画課
H17.10	結婚
H19.4	道路部 交通対策課
H20.4	愛知国道事務所 工務課 設計係主任
H20.7	出産後、育児休業開始
H22.4	育児休業終了
H22.4	愛知国道事務所 調査課 調査係主任
H24.3	出産後、育児休業開始
H25.4	育児休業終了
H27.4	中部技術事務所 地震対策技術課 技術係長
H28.4	中部技術事務所 維持管理技術課 維持管理技術第二係長
H29.4	中部技術事務所 品質調査課 調査係長
H30.4	愛知国道事務所 工務課 維持修繕係長





Takagiri Michiyo

高桐 美智代 技官

紀勢国道事務所
建設専門官

■現在の業務について

現在は、交通対策事業の計画・調整の業務を行っています。交通対策事業は、直轄国道の交通事故対策や生活道路の対策支援、道の駅や太平洋自転車道の整備等の仕事があります。私は主に自治体との調整や整備するために必要な関係機関との協議等を行っています。地域の方々と接する機会も多く、信頼関係を築きながら、地域の方々に喜んで頂ける仕事ができることが何よりも嬉しく感じます。

■監督職の難しさ

工事監督は、現場の監督・指導、地元や関係機関との調整等を行っています。工事現場は、現地条件に応じ、当初計画通りの施工ができない場合も多々あります。状況に合わせ、最適な施工方法を検討し、判断することが必要となります。その際、特に気をつけてきたことは、施工時の安全と道路利用者、地元の方への安全確保です。判断することの責任の重さを感じることもありました。様々な課題を経て、工事が完成したときの達成感は大きく、やりがいのある仕事に出会えて良かったと思います。

■心に残っているエピソード

地方自治体の女性職員を対象に現場の安全パトロールや勉強会を実施しています。職種も事務、土木、建築など様々であり、自分が経験したことのない業務やそれぞれの職場環境などについても情報交換を行っています。これを通じ人脈も広がり、同じ公務員として立場はいろいろですが、頑張っている女性がたくさんいることが実感でき、とても励みになりました。



現場での職員向け勉強会

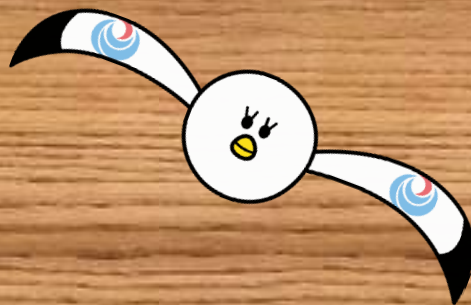


事務所にて打合せ

経歴

H1.4	名四国道工事事務所 調査第一課 採用
H5.4	紀勢国道工事事務所 工務課
H9.5	結婚
H11.2	出産後、育児休業開始
H11.11	育児休業終了
H13.7	出産後、育児休業開始
H14.1	育児休業終了
H18.4	三重河川国道事務所 津国道維持出張所 技術係長
H22.4	紀勢国道事務所 調査設計課 調査係長
H23.4	紀勢国道事務所 調査設計課 設計係長
H26.4	企画部 広域計画課 計画調整係長
H27.4	企画部 技術管理課 基準第三係長
H28.4	三重河川国道事務所 津国道維持出張所長
H30.4	紀勢国道事務所 建設専門官





HP ホームページ

中部地方整備局の気になる情報や
採用スケジュールをこまめにキャッチ!

建設部門

<https://www.cbr.mlit.go.jp/recruitment/>



SNS

若手職員からのメッセージや採用情報などを
発信しています。是非チェックして下さい!

インスタグラム

<https://www.instagram.com/cbr.recruit>



Facebook

<https://www.facebook.com/cbr.Recruit>



お問い合わせは

国土交通省中部地方整備局

●行政／総務部人事課企画係
0800-888-3166 (フリーフォン)

●技術／企画部企画課企画第一係
0800-500-3166 (フリーフォン)